



議会だより

No.144

平成25年2月
勝浦市議会報
編集委員会
電話0470(73)6662



目次

- 11月臨時会の経緯 2ページ
- 12月定例会の経緯 2ページ
- 常任委員会の審査内容 2ページ
- 議会日誌
- 一般質問 5～9ページ
- 11月臨時会議案審議結果 10ページ
- 12月定例会議案審査結果 10ページ
- みなさんの議会を傍聴しませんか
- 編集後記

初ガツオの水揚げ(1月28日)勝浦港

11月臨時会

平成24年度一般会計補正予算を可決

平成24年11月臨時会が、11月16日に開かれました。

本臨時会では、市長提出議案の平成24年度一般会計補正予算1件を審議しました。その結果、議

案は原案のとおり可決されました。
◆議案第53号 平成24年度勝浦市一般会計補正予算(第6号)
債務負担行為の補正で

子どもたちの安心・安全な保育環境を維持するため、東、鶴原、興津の各保育所児童が中央保育所または上野保育所に通所するための児童送迎バス

を平成25年4月から運行する上で、本年度中に業者選定を行う必要があることから、今回補正するもの。

た。
円を追加し、予算総額を93億7千72万千円にしようとするもの

総務常任委員会

◆議案第56号 千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

千葉県市町村総合事務組合の組織団体である大網白里町が平成25年1月1日から市制を施行し、大網白里市になることから、千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正することについて、関係

◆議案第57号 小高御代福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について
寄付金受納に伴い、本条例について基金の額を改正しようとするもの

12月定例会

保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定、指定管理者の指定や補正予算など21議案を可決・承認

平成24年12月定例会は、12月3日から12月14日までの会期12日間で開かれました。

本定例会では、条例の制定や一部改正、平成24年度補正予算など市長提出議案21件のほか、諮問1件、陳情1件を審議しました。

その結果、議案21件及び諮問1件が原案のとおり可決・承認され、陳情1件が継続審査となりま

した。
また、農業委員会等に関する法律第12条第2号の規定による議会推薦農業委員に、鈴木克己氏、土屋元氏、西川知子氏が推薦されました。

歳入歳出予算の補正で既定予算に千522万円を追加し、予算総額を92億6千270万4千円にしようとするもの
※補正内容
12月16日執行の衆議院議員総選挙に係る経費であり、緊急を要することから、11月19日に専決処分したものを

◆議案第55号 専決処分の承認を求めることについて(平成24年度勝浦市一般会計補正予算 第7号)

即決議案

◆議案第55号 専決処分の承認を求めることについて(平成24年度勝浦市一般会計補正予算 第7号)

その審査結果が12月14日の本会議で各委員長から報告され可決されました。

常任委員会の審査内容

今期定例会では、総務常任委員会を12月10日、教育民生常任委員会を12月11日、建設経済常任委員会を12月12日にそれぞれ開催し、付託された議案・陳情の審査を行いました。

その審査結果が12月14日の本会議で各委員長から報告され可決されました。

◆議案第59号 保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
子ども達の安心で安全な保育環境を維持するため、本条例について所要の改正をするもの

教育民生常任委員会

◆議案第60号 勝浦市生活支援訪問介護事業手数料の制定について
勝浦市生活支援訪問介護事業の時間区分及び手数料の見直しに伴い、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆議案第61号 勝浦市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
歳入歳出予算の補正で、既定予算に1億801万7千



地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、1年間の経過措置終了前に、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆議案第62号 勝浦市小規模水道条例の制定について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により水道法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、平成25年4月1日から千葉県より権限移譲される小規模水道の布設及び管理の適正を図るため、本条例を制定しようとするもの

◆議案第65号 指定管理者の指定について

平成25年4月1日からの勝浦市特別養護老人ホーム総野園の指定管理を社会福祉法人さくら会に

行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの

◆議案第66号 指定管理者の指定について

平成25年4月1日からの勝浦市デイサービスセンター総野園の指定管理を社会福祉法人さくら会に行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの

◆議案第67号 指定管理者の指定について

平成25年4月1日からの勝浦市保健福祉センターの指定管理を社会福祉法人 勝浦市社会福祉協議会に行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの

◆議案第68号 指定管理者の指定について

平成25年4月1日からのかつら聖苑の指定管理を株式会社宮本工業所に行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの

◆議案第72号 平成24年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

事業勘定及び直営診療施設勘定の歳入歳出予算の補正で、事業勘定においては、既定予算に2千884万5千円を追加し、予算総額を29億8千981万円に、直営診療施設勘定においては、既定予算から9万9千円を減額し、予算総額を6千626万円にしようとするもの

◆議案第73号 平成24年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の補正で、既定予算に9万2千円を追加し、予算総額を2億3千2万2千円にしようとするもの

◆議案第74号 平成24年度勝浦市介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の補正で、既定予算に8千134万2千円を追加し、予算総額を21億4千52万千円にしようとするもの

◆陳情第5号 生活保護基準引き下げはしないことなどを国に意見書提出を求める陳情

建設経済常任委員会

◆議案第63号 勝浦市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により公営住宅法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、1年間の経過措置終了前に、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆議案第64号 勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により水道法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、1年間の経過措置終了前に、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆議案第69号 指定管理者の指定について

平成25年4月1日からの勝浦市中倉農村交流館及び勝浦市中倉ふれあい農園の指定管理を中倉区に行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの

平成25年4月1日からの勝浦駅前観光案内所及び鶴原駅前観光案内所及び興津駅前興津・守谷観光案内所の指定管理を勝浦市観光協会に行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの

◆議案第70号 指定管理者の指定について

平成25年4月1日からの勝浦駅前観光案内所、鶴原駅前観光案内所及び興津駅前興津・守谷観光案内所の指定管理を勝浦市観光協会に行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの

◆議案第75号 平成24年度勝浦市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入及び支出並びに資本的収入及び支出の補正で、収益的収入で千65万2千円を追加し、支出で721万9千円を追加し、資本的支出で50万6千円を追加しようとするもの

諮問

最終日に市長から諮問

が提出され、可決されました。

◆諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員候補者に次の方を推薦するにあたり議会の意見を求めようとするもの。

氏名 加藤 ひろ子
住所 勝浦市法花5番地の5
年齢 60歳

報告

最終日に市長から専決処分の報告がありました。

◆報告第5号 専決処分の報告について

※市有自動車の車両物損事故について、物件損害の過失割合を市9割、相手方1割とし、損害額の9割相当額を支払う。人身損害は自動車損害賠償責任保険により支払うこととで和解した内容で、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したものの

※損害賠償額
59万4千325円

議会トピックス



指定管理者の指定について

平成25年3月31日をもって現在の指定管理者との協定期間が終了するため、勝浦市指定管理候補者選定委員会で選定された指定管理候補者について、本議会で可決しました。各施設の指定管理者は下記のとおりです。

いずれの施設も指定管理の期間は、平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間で

議案第65号	施設の名称	勝浦市特別養護老人ホーム総野園
	指定管理者	社会福祉法人さくら会 理事長 塩田吉宣
議案第66号	施設の名称	勝浦市デイサービスセンター総野園
	指定管理者	社会福祉法人さくら会 理事長 塩田吉宣
議案第67号	施設の名称	勝浦市保健福祉センター
	指定管理者	社会福祉法人 勝浦市社会福祉協議会 会長 高橋 昭
議案第68号	施設の名称	かつうら聖苑
	指定管理者	宮本工業所・五輪グループ 株式会社宮本工業所 代表取締役 宮本芳樹
議案第69号	施設の名称	勝浦市中倉農村交流館及び勝浦市中倉 ふれあい農園
	指定管理者	中倉区 区長 藤平 長
議案第70号	施設の名称	勝浦駅前観光案内所、鵜原駅前観光案内所及び 興津駅前興津・守谷観光案内所
	指定管理者	勝浦市観光協会 会長 君塚 保

指定管理者制度は、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設である公の施設について、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくことで、施設の設置の目的を効果的に達成するため、平成15年9月に設けられました。

【議会日誌】

5日	12月	28日	16日	16日	13日	12日	6日	6日	2日	11月	6日	7日	7日	6日
本会議（一般質問）	12月定例会（本会議）	議会運営委員会	千葉県自治体病院経営都市議会協議会県要望活動（千葉県庁）	11月臨時会	議会改革検討委員会	議会運営委員会	建設経済常任委員会視察（群馬県渋川市）	夷隅郡市負担金審議特別委員会（いすみ市）	議会報編集委員会	11月	総務常任委員会	建設経済常任委員会	本会議	本会議（一般質問）
										1月	11日	12日	14日	21日
										1月	教育民生常任委員会	建設経済常任委員会	本会議（最終日）	議会改革検討委員会
										1月	24日	24日	24日	24日
										1月	千葉県南12市議会議員研修会（袖ヶ浦市）	千葉県南12市議会議員研修会（千葉県市議会議長会研修会）	千葉県南12市議会議員研修会（千葉県市議会議長会研修会）	千葉県南12市議会議員研修会（千葉県市議会議長会研修会）
										1月	30日	30日	30日	30日
										1月	31日	31日	31日	31日
										1月	千葉県南12市議会議長会正副議長研修会（山梨県甲府市）	千葉県南12市議会議長会正副議長研修会（山梨県甲府市）	千葉県南12市議会議長会正副議長研修会（山梨県甲府市）	千葉県南12市議会議長会正副議長研修会（山梨県甲府市）

… 一般質問 … 市政の ココ が聞きたい

12月5・6日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

5日	土屋 元 1. 市長の政治姿勢について 2. 勝浦若潮高校の統合問題について	6日	藤本 治 1. 平成25年度予算編成方針について 2. 平成27年度以降の保育所再編について 3. 高校統廃合問題と勝浦若潮高校の存続について
	戸坂 健一 1. 図書館改革について 2. いじめ問題について		鈴木 克己 1. 公共交通機関の再編について 2. 自然と産業保護を目的とした条例制定について 3. 通学路等の安全点検について
	黒川 民雄 1. 防災対策について		
6日	佐藤 啓史 1. 幼稚園について 2. 観光振興について	6日	吉野 修文 1. 観光問題について 2. 防犯対策について 3. 教育問題について
	磯野 典正 1. 道路・交通基盤整備について 2. 教育環境について		



土屋 元 議員
(自由改革クラブ)

猿田市長の政治公約の進捗状況並びに取組姿勢について

問 産業廃棄物の最終処分場建設計画の現状と計画阻止への取組み状況について

答 千葉県が計画者に対して、事前協議のみなし取り下げ通知をして以降、これまでに新たな申請や再申はありません。これまでの取組み状況については、地元鶴原区をはじめ、市民挙げての反対運動はもとより、施行した土砂条例の効果も大きいものと考えています。

問 防災対策の充実と強化について

答 ①地区の自主防災組織の組織化の現況と今後の取組について
②秋に実施した大津波避難訓練の成果と課題について

答 ①自主防災組織は、これまでの勝浦、浜勝浦、墨名、興津、市野川地区に加え、新たに鶴原地区、松野地区において設立され、現在7地区となつています。

②大津波警報発表の訓練放送を合図に約2千5百人が身近な高台に避難し、一定の成果があったと考えています。

課題については、危機意識の低さ、避難場所の認識不足、情報収集の方法、坂道等への手すりの設置、海抜表示の増設、避難スペースの確保等で、防災意識を高めるため、更なる啓蒙と防災訓練が必要であると考えています。

問 地域産業の振興について

答 ①友好都市・西東京市と連携するなど地元生産品の販路の拡大や、連携の現況と今後の取組みについて

答 ①観光協会や商工会等、関係団体の協力のもと、例年行っている友好都市観光物産展及び

西東京市民まつりに参加し、海産物を中心に勝浦産のコシヒカリ、自然薯等農場産品のPR、販路の拡大に努めています。

②大楠交流農園の開設、NPO法人プライムシティ・生きがい村勝浦、すんべやあ勝浦が開設した市民農園で多くの市外の方が農業体験を、さらにKAPPYビジターセンターの開設活用を通じて振興を図っていききたい。

問 市長の執務基本姿勢と職員の人材育成について

答 ①執務基本姿勢の考えとまちづくりの思いの伝え方について
②幹部職員等に求める職務姿勢や、職員とのコミュニケーションについて

答 ①山口市政を継承しスピード感をもって市政に取組み、市民や議員各位のご理解を頂き順調に公約の実現に向けて進んでいると考えています。

②課長等が中心となり、失敗を恐れず積極果敢に職務に取組むよう指示、市長室をオープンにして意志疎通を図っています。



戸坂 健一 議員
(新創かつら)

図書館改革について

問 現在、勝浦市の図書館は近隣市町村の図書館に比べて、その開館時間、蔵書、サービス、職員体制ともに遅れを取っている。勝浦市の文化振興の為に、図書館機能の充実が急務である。そこで、まず現在午後4時半までとなっている図書館の開館時間を、近隣自治体並みに延長すべきと考えるがどうか。

答 閉館時間を30分延長し、午後5時までとする。実施時期は、市民への周知期間と準備期間を考慮し、平成25年の早い時期に開始したい。

問 時代の流れに即した図書館サービスの提供の為、インターネットに対応した蔵書検索システムを導入し、利用者の利便性を拡大する必要があると考えるが。

答 開館時間の延長と同様、多様化する利用者へのニーズに応えるべく、図書館サービスの充実、向上を図るため、インターネット対応蔵書検索システムを導入していく。

問 図書館の職員体制に ついて、図書館機能の拡張に合わせ、専任館長の配置や職員の増員、また、司書資格を持った専門性の高い職員を配置するなど、職員体制の見直しが必要だと考えるが。

答 現在、本市では図書館の規模等を考慮し、図書館長は他の役職と兼務となっている。専任館長の配置が望ましい事は承知している。司書資格を持った職員の配置と合わせ、今後、総合的に判断していきたい。

問 今後、図書館機能の拡張に合わせ、図書館サービスを網羅した図書館オリジナルホームページの開設も必要だと考えるが、市のお考えは。

答 図書館オリジナルホームページの開設は必要であると考える。今後、蔵書検索システムの導入と合せ推進して行く。

問 いじめの実態把握調査の回数が年5回というのは少なすぎる。少なくとも毎月調査を行い、いじめの実態把握に努めるべきではないか。

答 いじめをより早期発見、早期対応していく為、来年度から市内小中学校のいじめの実態調査を毎月実施する方向で検討して行きたい。

問 昨今、いじめが大きな社会問題となっているが、教育委員会は市内の小中学校のいじめを把握しているか。昨年、本年度のいじめの件数を伺うと共に、それらにたいしてどのように対処したのか伺う。

答 いじめの件数は、昨年度小学校2件、中学校8件。本年度小学校4件、中学校11件となっている。本市においてはいじめの実態把握のため年5回いじめ問題実態調査を行い、いじめの状況に応じて学校教育指導員を派遣するなど、いじめの早期発見、即対応可能な体制を構築している。

問 いじめの実態把握調査の回数が年5回というのは少なすぎる。少なくとも毎月調査を行い、いじめの実態把握に努めるべきではないか。

答 いじめをより早期発見、早期対応していく為、来年度から市内小中学校のいじめの実態調査を毎月実施する方向で検討して行きたい。

問 昨今、いじめが大きな社会問題となっているが、教育委員会は市内の小中学校のいじめを把握しているか。昨年、本年度のいじめの件数を伺うと共に、それらにたいしてどのように対処したのか伺う。



黒川 民雄 議員
(共和会)

防災対策について

勝浦市は東西に14キロメートル、南北に12・5キロメートル、また海岸線では実に25・7キロメートルであり、行政面積全体では、約94平方キロメートルと非常に広大であります。勝浦市が一たび災害に見舞われますと、各地で複数の災害が同時に多発します。そして、勝浦市では災害が発生した場合に対応するため、地域防災計画を次のように示しています。「市は、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合において、第1次的災害対策をする機関として、法令、県地域防災計画及び本市地域防災計画の定めるところにより、県、他の市町村及び指定地域行政機関並びに区域内の公共的団体及び住民の協力を得

て災害応急対策を実施する。」

問 国の防災会議でも示す首都機能の分散を参考に広大な勝浦市においても大災害発生時に市民の安全確保が直ちに展開できるように4地区、庁舎、興津、上野、総野地区の拠点に備品を配備して庁舎機能を分散すべきと考えるが。

答 万一この庁舎の機能がうまく果たせないようなときの備えとして、それを保管するとして、各地区へ庁舎機能の分散化、こういうようなことを図ることも、ある意味では考えておく必要もあると思う。

問 消防団は、火災、消火活動をはじめ風水害、地震、または山岳、そして海難、これらの人命救助、捜索活動と市民の生命、身体、財産を守るため、使命感と誇りを持ち日夜活動をしています。しかし、災害の多様化が激しく消防団員に係る危険度は増しています。勝浦市消防団では資器材の充実をどのように考えているか。

答 近年においては、電源照明車の配備や大型照明を搭載した小型動力ポンプ付き積載車の配備など、夜間の消防団活動を支える装備の増強のほか、消火活動の利便性を高めるための消防器具の配備にも努めている。

問 団員の目を守るゴーグルや粉塵等のマスクを今後取り入れていたきたい。

答 近隣市町村で機動性、実用性を認識、既に採用している消防バイクを消防車両として採用していただきたい。



佐藤 啓史 議員
(新創かつうら)

幼稚園について

問 保育所の再編については勝浦幼稚園を含め総合的に検討していく旨の説明がされているが？

答 勝浦幼稚園では定員割れが10年以上継続し、来年度の入園児数は10名となる。現在保育所の再編と中央保育所の建替えが検討されており、福祉課や関係課と協議したい。

問 再編について保護者の意見を参考としているが、幼稚園の保護者も含まれるのか？

答 幼稚園の保護者の意見も含まれる。

問 幼稚園の園舎の安全性は大丈夫か？併せて避難場所の見直しと避難路の整備状況についてお聞きする。

している。地震発生時の一次避難場所は園庭となっているが、園舎が老朽化していることから、二次避難場所は勝浦小学校となっている。今後、避難路を新設するので、勝浦中学校への避難も可能となる。

観光振興について

問 観光プロモーション戦略について

答 本市の観光戦略をお聞きしたい。

問 本市の観光戦略を前進のため、首都圏のバス会社約30社、大手旅行会社等に対して案内を行なった。今後はKAP P Y ビジターセンターを拠点に、市民と観光客の交流推進、観光地としてのイメージアップと観光客の誘致を推進していきたい。

問 ターゲットを絞った戦略が必要ではないか。

答 ビジターセンターで始めたレンタサイクルは若年世代を対象に、体験教室は熟年層をターゲットとしており、今後の移住・定住に繋がるよ

うに考えている。イメージ戦略をお聞きしたい。

問 一言で言えば「潮風香る おもてなしのまち リゾートタウン勝浦」

問 本市の観光振興のキーワードは「非日常」と「おもてなし」であるが、市民一人一人におもてなしの心を広めていくことが必要だ。

答 来年度以降に全市民を対象とした講座を開催していきたい。

問 勝浦市の恵まれた自然、景観を生かし、映画・ドラマ等のロケを積極的に誘致するためのフィルムコミッションを創設する考えはないか？

答 本市は風光明媚な美しい名所旧跡があり、ロケに関する情報提供や、撮影に関する相談対応、映画、ドラマなどの誘致に努めている。今後も千葉県フィルムコミッションと情報共有を行いながら、積極的に連携を図っていく。



磯野 典正 議員
(新創かつら)

道路・交通基盤整備について

問 第一次実施計画にある松野バイパスの整備促進と国道の改良による交通機関の強化推進について

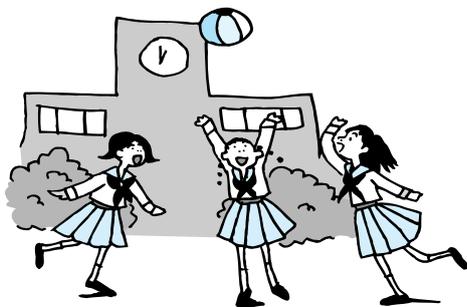
答 ①松野バイパスの工事再開に向け関係機関との協議はどのように進められ松野バイパス開通により市が期待することは？
②旧勝浦有料道路のインター設置について今年度の進捗状況は？
③県に対し工事再開の要望を続けてきた。地元説明会も開催し、バイパスの早期完成を要望する声が多かった。早期完成に向け県への事業推進の要望を引き続き行っていく。期待については、児童・高齢者の安全性の向上・騒音・振動の低減、災害時における道路機能の強化が期待できる。

教育環境について

②夷隅土木事務所の実設計画が完成し、用地買収に着手したところである。
問 学校規模および配置の適正化について
①生徒数は昨年と比べてどのように変化しているか？

②学区外に通学する生徒の数とその理由は？
③学校規模・適正配置についての検討委員会の進捗状況は？

答 ①昨年度に比べ小学校児童数は45名減少の687名で、中学校生徒数は昨年と同じ413名。
②学区外に通学する児童・生徒は小学校で61名・中学校で6名。家庭の都合で学区外にある実家から通学させるなど、就学すべき学校の指定変更が認められた生徒・児童です。
③魅力ある学校づくりに資するため、小中学校等の適正規模や適正配置についての第1回庁内検討委員会を開催した。本市の人口減少の状況、今後の児童・生徒数の推移、小規模校のメリット・デメリット



メリットはきめ細やかな学習指導・個別指導ができることなど学力の向上を図ることができ。その反面、デメリットとして集団性の欠如・競い合い・集団的スポーツが出来ないなどが考えられる。今後学校の適正配置を含め、適正規模について検討する。

問 ④小規模学校のきめ細やかな教育の中のメリット・デメリットとは？

答 かな学習指導・個別指導ができることなど学力の向上を図ることができ。その反面、デメリットとして集団性の欠如・競い合い・集団的スポーツが出来ないなどが考えられる。今後学校の適正配置を含め、適正規模について検討する。

平成25年度予算の編成方針について



藤本 治 議員
(日本共産党)

問 平成25年度予算で市民の負担軽減策、すなわち水道料金、ごみ袋代、国保税、会議保険料の引き下げにどう対応しようとしているか。

答 水道料金の引き下げは困難。ごみ袋代を引き下げる予定はありません。国保税の税率引き下げは困難。介護保険料も引き下げる考えはありません。

問 中学校3年生までの医療費無料化(入院通院を含む)、乗り合い(デマンド)タクシーの導入、住宅リフォーム助成制度の継続は、どう対応しようとしているか。

答 医療費無料化は引き続き現行制度(入院のみ)で実施。乗り合いタクシーの導入は、現在実施中の調査研究事業の

成果を踏まえ検討したい。住宅リフォーム助成制度は、単年度事業として実施したもので、事業継続は考えていません。

平成27年度以降の保育所再編について

問 県内にある保育所の規模を紹介して

答 一番大きいものは、茂原市の定員329名。2番目が、長南町の定員250名で、平均すると、60人から150人の定員のもの80%を超えています。

問 私は、330名を超える1カ所だけの保育所に再編するべきではないと考えますが、その選択肢はあるか。

答 今の中央保育所に隣接する給食センターが3千平方メートルあります。その下にある幼稚園を入れて認定こども園にするのか、当面は上野、総野で行きますけれども、その先をどうしたらいいのか、早急に検討すべき課題ですが、今ここで一園にすべきでないとは断定することはできません。
問 上野保育所を残したとしても、総野保育

所を廃止すると、中央保育所に一極集中することになります。総野は廃止すべきではないと考えるが、いかがか。

答 将来のことをどうするかは、今後、保護者や地域代表者、学校関係者の皆様と検討委員会を立ち上げ、再編について十分検討していきたい。

高校統廃合問題と勝浦若潮高校の存続

問 いすみ市は県教委が市立高校化を認めるならば、統廃合を白紙に戻す運動をやる。勝浦は勝浦で県教委に市立化の認可を求め。こういう動きになるうとしています。そもそも相対立する関係ではなく、無理無体な統廃合計画の被害者同士です。お互いが混迷の極みに追い込まれている状況であり、ぜひ市長同士が話し合いを持つべきです。

答 県立高校として若潮高校が残る方向があるならば、いすみ市長とも手を組んで動きたいと思うが、県教委にそういう考えはありません。



鈴木 克己 議員
(新創かつら)

公共交通機関の再編について

今回の一般質問は、三
点とも以前の議会で一般
質問した内容のその後の
対応について、提案を含
め再度質問したものです

問 本年度実施している
地域公共交通需要調
査内容はどのようなもの
か。

答 地域公共交通の需要
に関する調査研究会
を設置し、市民アンケ
ー、医療機関等の施設利
用者、交通事業者等への
ヒアリングを実施してい
る。平成25年2月を目途
に取りまとめ公表する予
定です。

問 市全体の公共交通の
在り方や市民バス事
業の再構築と市民バスの
利用が困難な交通弱者へ
の対応を図ることが重要
であると思う。県内でも
導入が進んでいるデマン

ドタクシー導入に向け関
係機関により検討する必
要があると思うが市長の
考え方を伺う。

答 調査研究成果を踏ま
え、行政、事業者、
地域との協働による持続
可能な公共交通サービス
の確立に取り組む。

デマンドタクシーにつ
いても、来年度には具体
的にどうあるべきかにつ
いて各論を検討する。

自然と産業保護を目的とした条例制定について

問 鶴原地先の産廃問題
は、県の判断により
一応沈静化しその後の動
きは無いが、この問題は
まだ終わってはいない。
今後このような計画をさ
せないためにも、平成23
年12月議会で条例制定に
向けた懇話会の設置等に
ついて庁内の関係機関で
検討すると回答があった
が、どのように検討され
たのか伺う。

答 提案の内容が非常に
難度の高い専門的な
事案との判断のため、県
市町村課と市の顧問弁
士に相談の結果、条例で
の規制は違法となること

こと。
また、一つの条例で磯
根や農地等各分野を保護
する条文は、複雑になる
ことから新条例制定は現
状では難しいと判断し、
条例懇話会は設置しない
こととした。

通学路等の安全点検について

問 上野小スクールバス
の安全点検の結果、危険
箇所等への対策がどのよ
うに行われるのか伺う。

答 上野小では、教職員
がスクールバスに同
乗し停留所の安全確認と
安全指導を実施。停留所
の安全対策については、
今後その方策を含め検討
する。

問 平成25年度から運行
予定の保育園児送迎
バスの安全対策はどのよ
うに計画するのか伺う。

答 バスを利用する保護
者、保育所及び運行
委託業者間で協議の上、
カーブや見通しの悪いと
ころを避けるなど、安全
に配慮した乗降場所を選
定し配置する。



吉野 修文 議員
(新世会)

観光問題について

問 当市には、土産物店、
食事どころ等の施設
いわゆる道の駅的な施設
を建設する考えがあるか

答 イベント等の開催に
より、多くの方に来て
いただいても、市内で
食事をし、帰りに土産物
を買っていくという、こ
れがまさに地域経済の波
及効果で、これが十分に
はないと認識し、また大
きな課題と考えている。
本市の農林水産業、商業
の発展なり観光の発展を
考えたとき、議員指摘の
道の駅のような施設は必
要と考えます。

問 11月1日にKAPP
Yビクターセンター
を開所したが、1日平均
の利用数と電動自転車の
貸し出し数を伺いたい。

答 1日平均の利用数は、
11月末現在、約10人
で、電動自転車は12台で

防犯対策について

問 観光立市である当市
として防犯カメラを
設置する考えがあるか。

答 地域防犯対策を考
える上では、防犯カ
メラは効果があると言わ
れています。ご指摘のと
おり、犯罪抑止力が高ま
り、犯罪が発生しても、
犯人検挙の有力な証拠と
なるものと思われま

問 太田いすみ市長は、
芸の2系列、4コースを
県に求め、海洋科学は実
習場が勝浦市内にあるこ
とから統合校から遠く、
生徒の負担になり、また、
施設が老朽化しているこ

とから、今後、勝浦市が
考える高校において引き
継ぐことがベストと同市
長が説明したと報道され
たが、市長の考えは。
答 県立の高校が存続す
るいすみ市と無くなる
本市では置かれて
状況が全く違い、重複案
であつてもその根底は大
きく異なります。いすみ
市が要望している案が認
められるかどうかは、県
が判断する。海洋科学系
列は、勝浦から要望をし
た結果として県立大原高
校に残そうと決定したも
ので、簡単にいすみ市が
削れということとは県は認
めないと理解しています。
問 幼保一元化、少子化
による小中一貫教育、
また、小中学校の統廃合
について伺いたい。

答 庁内検討委員会を設
置し、小中学校等の
適正規模や適正配置、ま
た、今後、本委員会で小
中一貫校を含め、協議、
検討してまいります。幼保
一元化については、幼稚
園の定員割れが10年以上
続いていることから、今
後、関係課と協議してま
います。

後、関係課と協議してま
います。

11月臨時会審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第53号	平成24年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎

12月定例会審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第55号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度勝浦市一般会計補正予算）	承認◎
議案第56号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決◎
議案第57号	小高御代福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第58号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第59号	保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第60号	勝浦市生活支援訪問介護事業手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第61号	勝浦市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第62号	勝浦市小規模水道条例の制定について	可決◎
議案第63号	勝浦市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第64号	勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第65号	指定管理者の指定について	可決○
議案第66号	指定管理者の指定について	可決○
議案第67号	指定管理者の指定について	可決◎
議案第68号	指定管理者の指定について	可決◎
議案第69号	指定管理者の指定について	可決◎
議案第70号	指定管理者の指定について	可決◎
議案第71号	平成24年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第72号	平成24年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	可決◎
議案第73号	平成24年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決◎
議案第74号	平成24年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	可決◎
議案第75号	平成24年度勝浦市水道事業会計補正予算	可決◎
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可決◎
陳情第5号	生活保護基準引き下げはしないことなどを国に意見書提出を求める陳情	継続審査

◎全会一致 ○賛成多数

編集後記



議会だより第144号をお届けします。

本号は、平成24年11月臨時会及び12月定例会について編集いたしました。

詳しい内容は、市立図書館及び市役所情報公開コーナーに備えてあります『勝浦市議会会議録』をご覧ください。また市のホームページにおいてもご覧いただけます。（<http://www.city.katsuura.chiba.jp>）

お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、勝浦市議会報編集委員会までお知らせください。

勝浦市新官1343番地の1 勝浦市議会事務局内
勝浦市議会報編集委員会 ☎ 73-6662

みなさんの議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局へお申し出ください。

【傍聴者の状況】

平成24年3月定例会	47名
平成24年6月定例会	29名
平成24年9月定例会	43名
平成24年12月定例会	40名